

指定管理者制度導入施設の管理運営状況【令和4年度】

※ 1 ～ 6， 9：施設所管課記入， 7：指定管理者記入， 8：指定管理者及び施設所管課記入

指定管理者名	セントラルスポーツ株式会社
施設所管課	教育委員会地域交流センター

1. 施設名

施設名	大崎市市民プール アクア・パル	施設の住所 電話番号	古川福沼一丁目15-1 0229-24-5000
-----	-----------------	---------------	-----------------------------

2. 施設の概要

設置年月日	平成7年4月1日	設置条例等	大崎市体育施設条例
設置目的	スポーツの振興及び普及を図り，市民の健全な発達と福祉の増進に資するため		
施設の内容	1階：エントランスホール，事務室，会議室，休憩ホール，トレーニングルーム， レッスンスタジオ 2階：25mプール，ジャグジー，幼児プール，遊泳プール，洞窟プール，採暖室， ウォータースライダー，サウナ		
利用料金	別紙のとおり		
開館日 開館時間	休館日 月曜日 12月29日から1月3日まで 開館時間 午前10時から午後9時まで		

3. これまでの管理運営状況

期間	管理形態		管理受託者又は指定管理者等
平成 7年度～平成17年度	1. 直営・2. 管理受託・3. 指定管理・4. その他	2	(財) 古川市体育協会（一部）
平成18年度～平成22年度	1. 直営・2. 管理受託・3. 指定管理・4. その他	3	陽光セントラル共同企業体
平成23年度～平成27年度	1. 直営・2. 管理受託・3. 指定管理・4. その他	3	陽光セントラル共同企業体
平成28年度～令和2年度	1. 直営・2. 管理受託・3. 指定管理・4. その他	3	セントラルスポーツ株式会社
令和3年度～令和7年度	1. 直営・2. 管理受託・3. 指定管理・4. その他	3	セントラルスポーツ株式会社

4. 現指定管理者の指定期間等

指定期間	令和 3年 4月 1日 ～ 令和 8年 3月31日（ 5年 ヶ月）
選定方法	公募 （応募者数：1 団体） ・ 非公募

5. 指定管理料

令和4年度（ア）	令和3年度（イ）	（ア）－（イ）
63,745千円	66,518千円	-2,773千円

※（ア）は当該年度、（イ）は前年度とし、それぞれ決算額ベース。

6. 指定管理者が行う管理運営業務の内容

指定事業（業務）： 1 スポーツ振興に係る各種事業の実施 2 スポーツ行政等への協力業務 3 利用許可、取消し等に関する業務並びに利用料金の徴収、減免及び返還に関する業務 4 施設及び設備の維持管理に関する業務
自主事業：自動販売機設置。スイミングウェア等の販売。

7. 利用実績等

（1）利用者数

（単位：人、件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
令和3年度	6,741	6,614	7,610	10,510	9,451	4,049	6,389	6,721	6,143	5,350	5,665	6,325	81,568
令和4年度	6,419	6,318	8,066	9,795	8,187	7,546	5,810	6,354	5,495	5,460	6,024	6,748	82,222
主な増減要因	令和4年度の利用者数総計は、前年比101%の82,222人（前年+654人）でした。内訳として一般利用が前年比99%の33,128人、教室等利用が前年比102%の49,094人でした。総計では前年度を上回っておりますが、令和3年度は9月に新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から休館期間がありましたので、実質令和4年度においても新型コロナウイルス感染症の影響下のなかでの運営となっております。 しかし令和4年度第4四半期（1月～3月）におきましては、前年度の利用者数を上回り、また新型コロナウイルス感染症の類型変更に伴い、令和5年度は人流が大きく変化していくことが予想されます。												

※上段に前年度実績を記載し、下段に当該年度実績を記載すること。

※指定事業に係る利用者数を記載し、自主事業による人数・件数は記載しないこと。

（2）利用料金収入

（単位：千円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
令和3年度	891	977	1,239	2,279	2,197	547	789	809	668	654	743	740	12,533
令和4年度	744	877	1,269	2,158	1,694	1,118	755	767	623	691	691	742	12,129
主な増減要因	令和4年度の利用料金収入総計は、前年比97%の12,129千円（前年▲404千円）でした。利用者数が増加しているにもかかわらず、利用料金減収の要因は、減免利用者の増加によるものです。減免利用者数は、前年比113%の9,217人（前年+1,047人）となっており、利用者数は押し上げているものの収入減となっております。減免利用数は、大人、高校生、小・中学生、幼児すべての区分で増加傾向にあり、大人が前年比110%（前年+721人）、次いで高校生が前年比128%（前年+241人）、小・中学生が前年比292%（前年+69人）、幼児が前年比633%（前年+16人）となっております。												

※上段に前年度実績を記載し、下段に当該年度実績を記載すること。

※指定事業に係る利用料金を記載し、自主事業による収入は記載しないこと。

(3) サービス向上や利用者数の増加等のために実施した主な取り組み

- ・市民が気軽にスポーツに親しむことが出来る環境づくりの一環として例年実施しているスポーツデーの施設無料開放は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、5月5日こどもの日は、市内の感染拡大により中止しましたが、敬老の日（利用者19人）及びスポーツの日（利用者152人）に開催しました。
- ・小学校の長期休暇（春休み、夏休みなど）を利用した短期間の水泳教室や体育教室を開催しました。技術習得のみならず礼儀作法、マナーや集団行動での自主性や積極性醸成など子供たちの心と体の健康を総合的に応援しています。教育委員会様に小学校への案内配布の協力を賜り、147人の子供たちの運動不足の解消と運動に興味を持ち体を動かす楽しさを十二分に知っていただくことが出来ました。
- ・幼児や小学生を対象とした運動教室や室内遊び工作などを取り入れたイベントを定期的（年7回）に開催しました。室内遊びや工作などを取り入れたイベントのため、運動が好きなお子様はもちろんですが、運動が苦手なお子様にも施設を利用していただくことが出来ました。
- ・日々の施設の美化において施設巡回チェックシートを活用し、施設美化や館内消毒に注力しました。巡回時の清掃や消毒に加え、お客様とのコミュニケーションも図り、その場において、ご意見ご要望にも対応しました。

(4) 施設利用者の主な声やその対応状況

「お客様ボイス」を設置し、お客様からのご意見、ご要望に迅速に対応して参りました。施設面が主な声となりますが、更衣室ロッカーやシューズロッカーの老朽化、各エリアブラインドの老朽化、2F更衣室の網戸設置、シャワー温度調節がありました。また新型コロナウイルス感染予防対策として実施しているレッスンの人数制限、サウナやジャグジーでの黙浴、マスク着用や施設内での飲食や会話についてのご意見ご要望もありました。施設美化や館内消毒などの施設巡回や教室事業での対応などでは、感謝やお褒めの言葉もいただいております。寄せられたご意見ご要望につきましては、スタッフ間で情報共有を行うことにより再発防止や新たな改善に役立てております。

今後もお客様との会話を大切にし、受付業務やプール監視、トレーニングジム指導、レッスン、施設巡回などを活用したコミュニケーションにより、施設を快適に利用していただく環境を整備して参ります。

(5) 施設の管理運営における課題

次年度の課題につきましては、まず新型コロナウイルス感染症の類型変更に伴う感染症対策がありますが、お客様が安心して安全に施設の利用が出来るように、引き続きご理解とご協力をいただきながら管理運営に努めて参ります。また類型変更に伴い、新型コロナウイルス感染症の影響がなかった平成30年度の利用者数、利用料金収入を目標に施設の利用促進に繋がるスポーツに親しむ機会の取り組みにもより一層力を入れて参ります。

そして一番の課題となりますのが、平成7年度のオープンから27年が経過し、施設の設備や備品などの経年劣化が進んでおります。保守管理や日常管理の管理業務を適正に行いながら、修繕箇所や施設備品につきましては、施設所轄課の担当者様にご相談をさせていただきながら対応して参ります。

8. 管理運営状況

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 人員配置	管理運営に必要な人員及び有資格者を配置している。	○	○
(2) 職員研修	業務に必要な職員研修や教育等を適切に行っている。	◎	◎
(3) 管理記録	各種の管理記録（業務日誌等）を適切に整備、保管している。	○	○
(4) 安全管理	日常の安全管理や緊急時のマニュアル整備等の体制を整備している。	○	○
(5) 清掃・維持管理	施設、設備等の保守点検や維持管理等を適切に行っている。	○	○
(6) 施設等の修繕	施設や備品等の修繕を適切に行っている。	◎	◎
評価項目	評価基準	自己評価	所管評価

2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	事業計画書等に基づく利用者数や施設の稼働率がある。	○	○
(2) 利用料金	利用料金の設定、徴収、減免、還付等の手続きを適切に行っている。	○	○
(3) 利用者満足度	利用者ニーズの把握に向けた取り組みを行っている。	◎	◎
3 事業の実施			
(1) 指定事業	仕様書、事業計画書に基づく事業を実施している。	○	○
(2) 自主事業	施設の設置目的に沿った自主事業を実施している。	○	○
4 個人情報の取扱い			
(1) 個人情報の保護	協定書等に基づき適切に個人情報を取り扱っている。	○	○
5 管理運営業務の収支等			
(1) 収支状況	事業計画書等に基づく妥当な事業収支である。	○	○
(2) 効率的な運営	経費の節減や利用料金収入の向上に向けた取り組みを行っている。	○	○
(3) 経理事務	専用口座、帳簿等を備え、適切な経理事務を行っている。	○	○

【評価の考え方】

評価		評価の考え方
◎	(優 良)	協定書や事業計画書等より優れた内容で管理運営を行った。
○	(良 好)	協定書や事業計画書等に基づき適正な管理運営を行った。
△	(課題有)	協定書や事業計画書等を下回る内容であり、一部の業務に改善が必要である。
×	(改善要)	協定書や事業計画書等に基づく管理運営が行われなかったため改善を要する。

※該当しない項目については、「－」を記入してください。

9. 施設所管課の総合評価

平成7年のオープン以降、これまで数々の大会や各種教室の会場として活用されてきた。現在も指定管理者の豊富な管理実績や経験を活かしながら、利用者が安全安心に施設を利用するための維持管理のほか、利用促進のための各種教室やサービスが継続的かつ安定的に行われてきている。

運営面では、利用者数は昨年比で微増、コロナ前の75%程度となっているが、コロナによるイベントの中止や人数制限、天候等の影響も加味すると利用者数は回復傾向にあり、スポーツデーの実施や小学校の長期休暇を利用した水泳教室、一人一人の状況に合わせたプライベートレッスンなどのほか、キッズキャンプや野外活動など新たな取り組みも行うことにより利用者数の向上に取り組んでいることも評価に値する。

管理面では、日々の点検や清掃により施設の状況を適切に把握して必要な保守や修繕等の対応に取り組んでおり、利用者の安全安心な利用に配慮している。

今後も引き続き創意工夫した管理や事業運営に努められ、一人でも多くの方が施設を利用し、水に触れ、体を動かすことの楽しさを共有できる施設であり続けることを期待する。